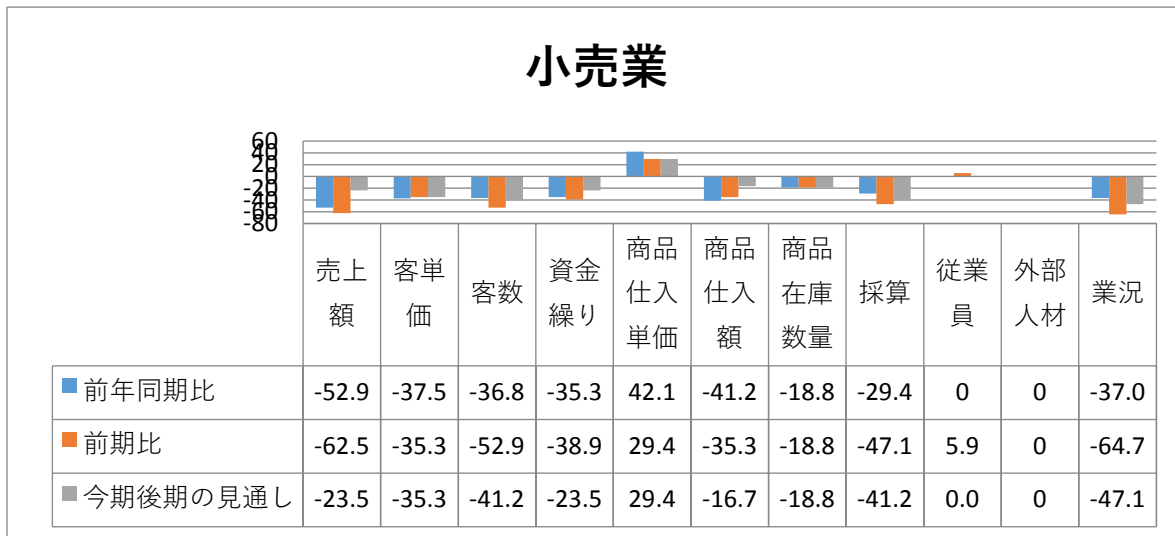
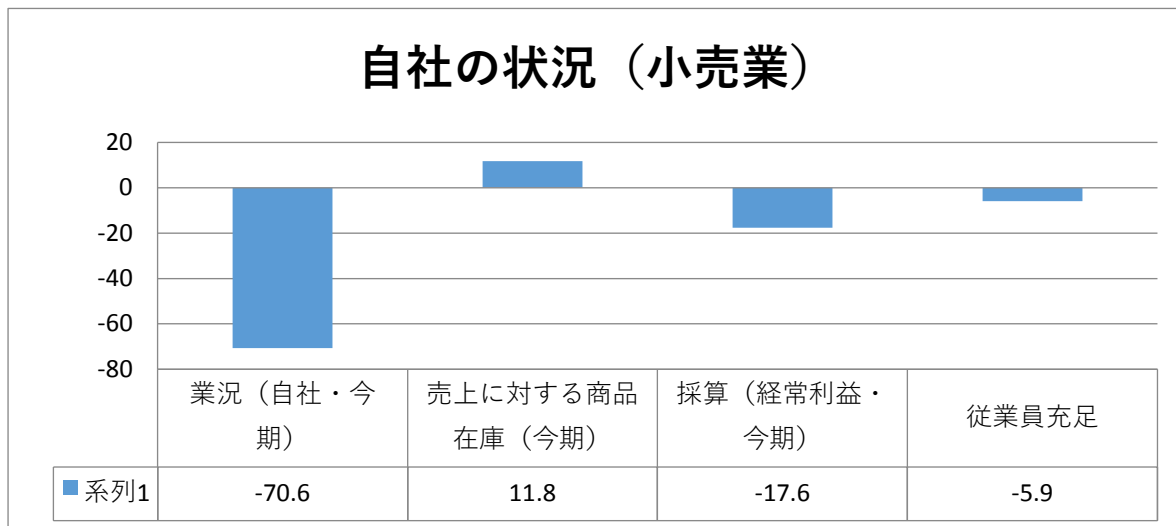


① 小売業

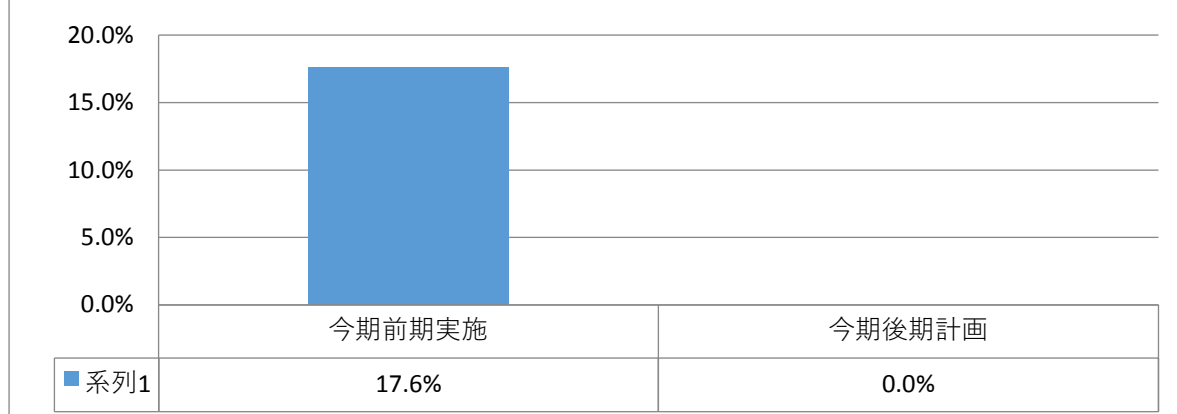


売上、採算、業況について他業種に比べて大きくマイナス領域にあるが、今後の見通しについては改善することが予想されている。売上については客数、客単価ともに横ばいで推移しているがマイナス局面にある。商品仕入単価についてはプラス幅の減少が見られる。



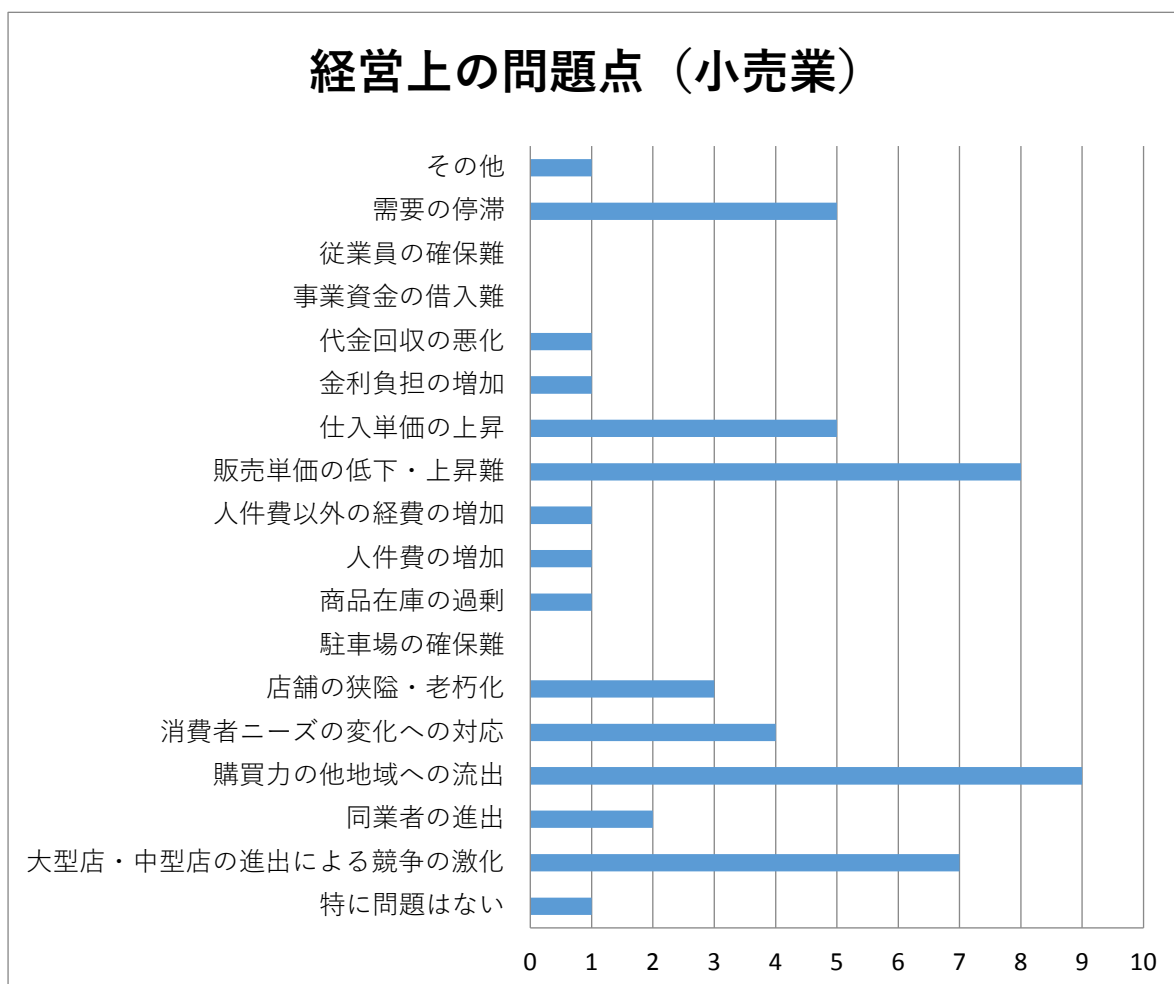
業況については他業種に比べて大きくマイナスにある。採算は前期のプラスからマイナスに転じた。商品在庫が過剰にあると感じている事業者もあり、注視が必要である。従業員は不足気味である。

設備投資実施率（小売業）



設備投資実施事業者は前回の調査より減少し、売上が伸び悩む中、今後の積極的な設備投資計画は全く見られない。

経営上の問題点（小売業）



経営上の問題点の第1位は「購買力の他地域への流出」で18%、第2位は「販売単価の低下、上昇難」で16%、第3位は「大型店の進出による競争の激化」への対応で14%であった。